



地域づくりニュース H28 Vol.3

第3回「歩く県道（東松峠）」地域づくり検討会を開催し、次年度以降の街道整備や東松峠を利活用した取り組みについて話し合いました。地域の人達と共に東松峠の活用や保全の仕方について検討を重ね、道普請による補修作業を6年間継続してきたことで、予定していた整備を今年度で終わることができました。次年度以降は峠道を維持・管理しつつ、利活用に重点をおいた活動を進めていくこととなります。より多くの人に訪れて頂き、今後の地域づくりに繋がる取り組みとするために、活発な意見交換を行いました。

第3回「歩く県道（東松峠）」地域づくり検討会開催概要

- 日時● 平成29年2月15日（水）13時30分～15時30分
東松振興センターにて開催
- 参加者● 高寺地区地域づくり協議会、東松峠を守る会、にしあいづ観光交流協会、東北芸術工科大学教員、会津坂下町、福島県会津若松建設事務所 合計32名
- 話し合われたこと●
 - 🚧 今後の街道整備について
 - 🚧 東松峠を活用した地域づくりについて
 - 🚧 前回の検討会（平成28年12月6日開催）の意見を基にした意見交換



今後の街道整備について

平成23年度から今年度までの整備箇所と施工方法を振り返るとともに、次年度以降の街道整備の基本方針を確認しました。

平成23年度



ぬかるみを改善するために、開渠タイプの横断側溝を施工。

平成24年度



沢水の浸食により道が崩落するのを防止するために沢止工を施工。

平成25年度



路肩を保護するために石積工を施工。

平成26年度



法面を保護するために丸太土留工を施工。

平成27年度



降雨時でも安全に登り降りできるように階段工を施工。

平成28年度



土塁と土側溝を施工し洞門前広場を整備。

今年度で、必要な箇所の補修工事が一通り終了し、来年度からは保守・管理作業が中心となります。次年度以降も、雪解け後に現地調査を実施し、地域の皆様とともに街道を見守り、整備が必要になれば状況に応じた対策を講じていきたいと思っております。

東松峠を活用した地域づくりについて

高寺地区地域づくり協議会と、にしあいづ観光交流協会から今年度の活動内容と次年度の活動計画について報告をしていただきました。

- 高寺地区地域づくり協議会では、初夏と秋のウォーキング大会開催や、地域の文化財への説明看板設置等に取り組んできました。平成 29 年度も継続してウォーキング大会を開催し、文化財（雲雀ヶ城跡や古墳群等）への説明看板の設置や、東松峠に生育している植物リストの作成、高寺山の登山道の整備を行う予定となっており、これらの活動を通して地域の活性化に繋げていきたいとのことです。
- にしあいづ観光交流協会では、ボランティアや地域の人達と共に草刈を行って街道を整備し、「会津街道探索ウォーク」や「会津（越後）街道サミット」等のイベントを開催してきました。平成 29 年度は、新発田藩の参勤交代と同じ日程（2泊3日）で総延長 107 km の新発田若松間をウォーキングする「リアル参勤交代」や、宿場町をピンポイントで探索する「町歩き」などを予定しており、広域連携のしくみづくりにも取り組んでいきたいとのことです。

検討会での主な意見をご紹介します

今後の街道整備に関すること

- 峠道を良好な状態に維持するためには、倒木処理や草刈り、側溝内に堆積した土砂や落ち葉の除去等のメンテナンスを継続する必要があります。護る会会員の高齢化が進んでいるので、今後の維持管理方法を考えなければならない。
- 子供達と一緒に側溝の土砂を上げるなど、みんなで楽しみながら作業ができる企画があっても良い。秋のソバ会を兼ねて、ボランティアで参加していただくことも検討している。
- 倒木で道が壊れたり塞がれたりしないように、峠道のそばにある太い木を伐採したほうが良い。
- 住民と県がコンセンサスを得て、一緒に街道周辺の空間づくりをすることが大切である。
- 集落のはずれの石畳があった箇所を復元してほしい。一里塚手前の地すべり箇所の道幅を広げ、勾配もゆるやかにしてほしい。
- 県が管理する箇所とそれ以外の箇所があるので、各場所に応じて対策を考える必要があり、意見を集約する場も必要になると思う。石畳の箇所や風倒木がある場所については、雪解け後の現地調査で状況確認し、その後対策を検討したい。

山側側溝のメンテナンス



秋のウォーキング大会



ヒメサユリ



東松峠を活用した地域づくりについて

- 坂下中学校の学年行事で、東松峠のウォーキングが行われている。これからも学習の場として東松峠を利用していただけのように学校側に働きかけをしたい。
- ヒメサユリの群生地をウォーキングコースに取り入れることで、東松峠の利用価値が高まると思う。草刈の時にヒメサユリを刈り取ってしまわないような対策をして保護したい。
- 峠道の植物に名札を付ける作業を行ったが、西会津のウォーキング大会が終わった後だったので、今後は連携をとって双方のイベント前に終わるようにしたい。
- 草刈りは、西会津側と連絡を取り合って連携して行うようにしたい。
- 東松峠を利活用した取り組みに対する地元の関心が低く、「村の役員や護る会でやっていること」という意識の人が多と思う。母体があって、そこに協力できる体制ができると良い。

本日の検討会で、今後の東松峠の整備や利活用について、多くの意見をお伺いすることができました。次年度も、東松峠の維持管理や利活用方法について検討し、地域の皆様の東松峠を活用した取り組みも、サポートしていきたいと思っております。御協力をお願いいたします。

ご意見・お問い合わせは



福島県会津若松建設事務所 企画調査課

TEL 0242-29-5455

FAX 0242-29-5459